

名古屋市立大学・高知県立牧野植物園 連携協定締結式・記念シンポジウム

オンラインで実施します

あわせて、記念シンポジウムご来場の皆さまに

名古屋市立大学薬用植物園 特別公開!

春の花が
きれいです

<第1部> 連携協定締結式(13時30分～)

名古屋市立大学 郡 健二郎 学長、高知県立牧野植物園 水上 元 園長 ほか

<第2部> 記念シンポジウム「植物インベントリーから医薬品開発へ」(14時10分～)

講演:「植物インベントリーから医薬品開発－牧野富太郎の思いをつぐ」

高知県立牧野植物園 水上 元 園長

「名市大の医薬品開発への貢献」

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「創薬基盤科学技術開発研究拠点」拠点長

名古屋市立大学薬学研究科 平嶋 尚英 教授

「ミャンマー－高知－名古屋が結ぶ創薬への道～成功例の紹介～」

名古屋市立大学薬学研究科長 林 秀敏 教授

<第3部> 名古屋市立大学薬用植物園特別公開(15時～)

記念シンポジウムご来場者様を対象とします。名古屋市立大学薬学研究科 牧野 利明 教授による解説後、学生によるガイドツアーを行います。なお、高知県立牧野植物園では薬用植物区のガイドツアーを実施します。

令和3年3月22日(月) 13時30分～(入場受付 13時～)

名古屋市立大学田辺通(薬学部)キャンパス
(瑞穂区田辺通3-1)

宮田ホール(講義棟1階) 入場無料・要申込・先着70名

<交通アクセス>

市バス(金山16「瑞穂運動場東行」)「市大薬学部」下車徒歩1分

(金山14「瑞穂運動場東行」)「市大薬学部」下車徒歩1分

地下鉄(名城線)「総合リハビリセンター」下車1番出口から西へ徒歩約15分

地下鉄(桜通線)「瑞穂区役所」下車1番出口から東へ徒歩約15分



お申込み・お問合せ

名古屋市立大学薬学部事務室

お申込先: jimusitu@phar.nagoya-cu.ac.jp

(お申込方法は、裏面をご覧ください)

お問合せ先: ☎ 052-836-3402

【高知県立牧野植物園のご紹介】（高知県高知市五台山 4200-6）

牧野富太郎博士の業績を顕彰するため、昭和33年に高知市に開園。研究活動としては、高知県の野生植物の調査、収集、保全に取り組むほか、海外ではミャンマーを中心に植物多様性の解明、資源植物の探査を行っています。

資源植物研究センターを設置し、薬用資源植物の開発を主題とした応用研究を進めるとともに、豊富な標本を有する標本庫や和漢の本草書コレクションなどを有する牧野文庫を備えています。 <https://www.makino.or.jp/>



春の高知県立牧野植物園

【名古屋市立大学薬用植物園のご紹介】

薬学教育の一環として学生に薬用植物や生薬についての生きた知識を学ばせることを目的に設置。草本植物約300種、木本植物約70種を栽植しており、遺伝子資源の保護という立場から、貴重な薬用植物資源の収集、保存にも取り組んでいます。通常非公開ですが、年数回特別見学することができます。

<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/hp/yse/guide-j.html>



春の名古屋市立大学薬用植物園

※連携協定締結式・記念シンポジウムの当日の様子は、オンライン同時配信します。

ご視聴いただく場合は、牧野植物園チャンネル(YouTube)(牧野植物園 HP トップページ <https://www.makino.or.jp/>)からご覧ください。

【お申込方法】（新型コロナウイルス感染対策上、ご入場はお申込先着70名様までとします）

令和3年3月19日(金)までに、下記のとおりご送付ください。

<申込事項> 氏名、住所、年齢、電話番号

※複数名でお越しの場合も、代表者様だけでなく全員についてお願いします。

<送付先> jimusitu@phar.nagoya-cu.ac.jp (名古屋市立大学薬学部事務室)



【新型コロナウイルス感染予防に関するご協力のお願い】

- ・感染防止のためにマスクの着用をお願いいたします(マスクを着用していない方はご入場いただけません。)
- ・検温で37.5度以上の発熱がある方はご入場をご遠慮いただきます。
- ・入場時の手指の消毒や場内での手洗い励行などにご協力をお願いいたします。
- ・会場に到着する以前に、既に発熱・咳・全身痛等の自覚症状がある場合、体調がすぐれない場合は、無理をなさらずご来場をお控えください。